

# 考・努・感

尾張旭市立旭中学校

旭中学校ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>

## 身も心も引き締める！

「ちょっと気がゆるみすぎていませんか？」

この1週間みんなの様子を見ていて、心配になったので、今一度、みんなに問いかけます。体育大会という大きな行事・中間テストが終わり、次に控える文化発表会・期末テストまで少し期間があるので、ちょっとホッと一息つく時期かもしれません。しかし、一息つくことと気がゆるむことは違います。ONとOFFの切り替えを上手にして、生活していくことは大切なことですが、気がゆるみすぎてしまっは、なかなかきちんと元に戻すことはできません。今一度、身も心も引き締め直して、生活していきましょう。

### 【☆みんなのキラリ☆】

#### ～日常の中でのふとした優しさ・温かさ～

- 牛乳瓶のケースの中に、飲み干した物とまだ残っている物が混ざっていたことに気づいた人が、自主的に整理してくれました。
- 欠席者がいると、自分で気づいて給食当番の代役をかって出てくれた人がいました。
- 前日に誰かが取り忘れたゴミを、ほうきとちりとりを持ってさっと拾ってくれた人がいました。
- 体育の時間、各クラスとも率先して準備・後片付けをしてくれています。



“優しさ” “温かさ”を感じられる日常に！！

### (来週の予定)

- 24日(月) 学校公開・部活動見学会
- 26日(水) 学年合唱練習(at体育館)  
※ST後10分間、合唱練習開始  
生活リズムチェック週間  
(～11/1)
- 27日(木) 委員会(後期1回目)

いよいよ合唱練習がスタートします。  
クラスの仲間で声をかけ合い練習していきましょう。



### (学校公開の予定)

クラス	教科	授業者	場所
A組	社会	松崎裕哉	2A教室
B組	英語	金原はるみ	2B教室
C組	国語	新良通子	2C教室
D組	国語	鈴木健将	2D教室
E組	理科	大澤靖司	2E教室
F組	数学	谷口千絵・伊林直毅	少人数A(北館3階)・2F教室
G組	道徳	眞木美香	2G教室
H組	道徳	杉江浩一	2H教室

お時間がありましたら、ぜひ参観いただき、ご家庭とは違ったお子様の表情をご覧ください。

# ☆読書の秋☆

「〇〇の秋」と言われますが、今回は『読書の秋』に注目してみました。一冊の本との出会いが、その後の人生に大きな影響を与えることもあります。また、左に紹介した人のように『世界が広がる』可能性も備えています。学校の図書室をのぞいてみると、様々なジャンル・最新刊など、たくさん本が待っています。少し意識的に時間をつくり、読書に親しんでみてはどうでしょうか。



## 一冊の本が新たな扉を開いた

中学生 北村 理絵

(埼玉県 13)

絵本や本の世界を楽しめる子にと「絵が入った私の名前。推理小説や恋愛ものなどを好む本好きになった。そして今年の夏、新たな扉が開かれた。

有川浩の「植物図鑑」を読み、登場した花々を公園で見つけてうれしくなり、身近な植物を自由研究のテーマにした。そして、1967年初版の「学生版 牧

題名：「ぼくらの七日間戦争」  
 著者名・出版社：宗田理（角川文庫）  
 あらすじ・おすすめ理由：  
 宗田理さんの「ぼくらの・・・」シリーズの最初の作品です。自分も中学生の時に読み、とても面白くて、その後このシリーズを全て読みました。今でも持っている大切な本です。（推薦者：中村真知子）

題名：「カラフル」  
 著者名・出版社：森絵都（文春文庫）  
 あらすじ・おすすめ理由：  
 抽選に当たり授与されたものは、人生をやり直す機会であった。主人公の“僕”の魂は、“別人”である中学3年生の少年に乗り移る。この少年（僕）は、学業や友人関係はパツとせず背が低いというコンプレックスを持っていた。中学生という悩みや葛藤が多い時期に一度は読んでみたい小説です。少年（僕）が、困難を乗り越えた先に何が待っているか、ぜひ本で確かめてみましょう。（推薦者：鈴木健将）



10月9日（朝日新聞）

題名：「西の魔女が死んだ」  
 著者名・出版社：梨木香歩（新潮文庫）  
 あらすじ・おすすめ理由：  
 学校になじめずに不登校になった主人公まいは、田舎のおばあちゃんと暮らしながら魔女の修行を行うことになる。その修行とは、『規則正しい生活をする』や『何事も自分で決める』など。そういうことが「悪魔にとりつかれないこと」らしい……。おばあちゃんの言う「魔女」とは？そして“悪魔”とは？  
 自分が大学生のころ読んだ本ですが、自分の生き方を考えさせられる本でした。



(推薦者：松崎裕哉)